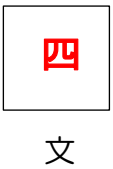


① 次の【文章の一部】は、児童会長の高原さんが運動会開会式の「児童会長のあいさつ」のために書いた作文です。「これを読んで、あとの問いに答えましょう」。

【文章の一部】

今日は、みなさんが待ちに待った運動会です。この日に向けて、みんなで練習に取り組んできました。一年生にとっては初めての運動会、六年生にとっては小学校生活最後の運動会になります。今年の運動会の合言葉「笑顔で楽しく仲間と共に、勝利をつかみとれ」のもと、全校児童で力を合わせてがんばりましょう。

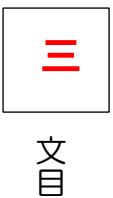
一 【文章の一部】の中は、どの文がありますか。数字を□の中に書きましょう。



二 一で答えたそれぞれの文のはじめの五文字を丸で囲みましょう。なお、読点（、）も字数に含みます。

※解答は、右の【文章の一部】に直接書きましょう。

三 右の【文章の一部】の中へ、高原さんが一年生と六年生に向けて書いた内容はどの目的の文で書かれていますか。数字を□の中に書きましょう。



文目

- ① 旭川小学校三年生の山下さんは、総合的な学習の時間に施設訪問をしてインタビューをさせてもらった旭山動物園の飼育員の水野さんにお礼の手紙を書きました。次の【水野さんへの手紙】を読んで、問題に答えましょう。

【水野さんへの手紙】

夏らしいあつい日が続いていますが、お元気でしょうか。先週、インタビューをさせていただいた旭川小学校三年二組の山下あかねです。

この間は、おいそがしい中にもかかわらず、しつもんにご答えていただき、ありがとうございました。しいくいんさんの仕事のやりがいや、それぞれの動物のとくちように合わせておせわの仕方を工夫していることなど、はじめて知ったことがたくさんありました。新聞にまとめて発表したら、クラスのみんなもおどろいていました。

これからもお体に気をつけて、動物たちのためにおしごとをがんばってください。私も、勉強をがんばります。

A

B

C

C

- ー 山下さんは、手紙の後付け（手紙の最後に付ける内容）をきこうとしています。【水野さんへの手紙】のA、B、Cの中に入る内容をそれぞれ次の1～3から選び、（ ）に数字を書きましよう。

- 1 自分の名前
- 2 相手の名前
- 3 日付

C	B	A
（	（	（
2	1	3
）	）	）

- 二 Cの内容を一番高い位置に書くのはなぜですか。理由を10字以上30字以内で書きましよう。

あ	思	ら
い	っ	わ
て	て	す
の	い	た
こ	る	め
と	気	
を	持	
大	ち	
切	を	
に	あ	

① 次の文を、――の部分の主語にして意味が変わらないように書き直しましょう。

― わたしは、中山さんに追いかけられました。

中山さんが、

わたしを追いかけました。

― 父が、この家を建てた。

この家は、

父に（よって）建てられた。

② 松下さんは、学芸会について文章を書いたあと、読み返して、……部と――部とのつながりが合っていない文があることに気付きました。次の【松下さんの作文の一部】をよく読んで、あとの(問い)に答えましょう。

【松下さんの作文の一部】

①十一月四日は、転校してきて初めての学芸会でした。この日に向けて、学級のみんなで練習をくり返してきました。②ぼくは、練習の成果を出し切るために、本番で二つ目のことを目標にしました。

③一つ目の目標は、せりふを大きな声でゆっくり言いました。きんちようすると、せりふを言うのが速くなったり、声が小さくなったりしてしまうからです。

(問い) ……部と――部と――部とのつながりが合っていない文の番号を、①か②か③か④か⑤か⑥か⑦かの中から一つ選び書き直してあげよう。――部はそのままにして、文の意味が変わらないようにしよう。

選んだ文の番号……

③

書き直した一文

一つ目の目標は、せりふを大きな声でゆっくり言うことです。

① 次のひらがなを、ローマ字で書いてねいに書きましよう。

① ねこ → neko

② あさって → asatte

③ どんぶり → donburi

④ みかん → mikan

⑤ きんぎょ → kingyo

⑥ あさひかわ → Asahikawa (ASAHIKAWA)

② 次のローマ字を、ひらがなで書いてねいに書きましよう。

① tabemono → たべもの

② sumire → すみれ

③ hyaku → ひゃく

④ akusyu → あくしゅ

⑤ tenpura → てんぷら

⑥ batta → ばった

① sekken

せっけん

② zyagaimo

じゃがいも

③ onêsan

おねえさん

④ ryokan

りょかん

⑤ mikazuki

みかづき

⑥ tan'i

たんい

②

次のローマ字を、ひらがなで書いてねいに書きまじょう。

① はっぱ

happa

② れっしゃ

ressya

③ きゅうしょく

kyûsyoku

④ がっこう

gakkô

⑤ ほっかいどう

Hokkaidô
(HOKKAIDÔ)

⑥ きんようび

kin'yôbi

①

次のひらがなを、ローマ字で書いてねいに書きまじょう。

① 次のような場合、漢字辞典のどのさくいんを使いますか。 から選んで記号で書きましよう。

- ① 漢字の部首を手がかりにする。 (**イ**) ア 総画さくいん
- ② 漢字の音と訓の読み方がわかる。 (**ウ**) イ 部首さくいん
- ③ 漢字の読み方も部首もわからない。 (**ア**) ウ 音訓さくいん

② 次の漢字の部首名を から一つずつ選んで、 に記号を書きましよう。

- ① 安 オ
- ② 放 イ
- ③ 照 ア
- ④ 礼 ク
- ⑤ 発 キ
- ⑥ 隊 カ

ア	れんが(れっか)	イ	ぼくによう(のぶん)
ウ	おおざと	エ	あなかんむり
カ	こざとへん	キ	はつがしら
		ク	うかんむり
			しめすへん

③ 「話」という漢字を、部首をいって引く手順を1〜3の番号で書きましよう。

(1) 部首「言」の画数を数える。

(2) 同じ部首の漢字が画数順に並んでいるので、そこから「話」をさがす。

(3) 七画の部首の中から「言」を見つけて、「言」がのっているページを開く。

1 次のそれぞれの慣用句の意味について、最も適切なものを、ア～エまでの中から一つ選び、
 □に書きましよう。また、※条件に合わせて短い文を書きましよう。

慣用句1

目を丸くする

- ア 激しく怒る。
- イ 油断なくみはる。
- ウ 驚いて目を大きく見開く。
- エ じっと見つめる。

最も適切な意味……

ウ

※条件 「目を丸くした。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「目を丸くした」の主語を
 明らかにした上で、「誰(何)の」どのようなくと(様子)「に」「目」を丸くした「の」かが分かる
 ように書くこと。

(例) わたしは、グラウンドのあまりの広さに目を丸くした。

慣用句2

水に流す

- ア 努力がむだになる。
- イ なかったこととする。
- ウ じやまをたぬ。
- エ 話を。

最も適切な意味……

イ

※条件 「水に流した。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「水に流した。」の主語を明
 らかにした上で、「どのようなくと(様子)」を「水に流した」のかが分かるように書くこと。

(例) わたしは、友だちが謝ってくれたので、悪口を言われたことを水に流した。

- ① 高橋さんは、「夢をもつことの大切さ」というテーマで意見文を書きました。意見文を書く際に自分の意見をより分かりやすく読んだ人に伝えるために以前に読んだ本から文章を引用しました。高橋さんの意見文の一部を読んであとの問いに答えましょう。

【高橋さんの意見文の一部】

わたしには、夢があります。それは、将来、医りょうの仕事につきたいという夢です。しかし、友達の中には将来の夢がないという人もいます。その友達の夢がないという理由は、たとえば夢もったとしても、その夢をかなえられないことの方が多いから、夢があっても仕方がないというものです。わたしは、友達のその考えを聞いて、ある本にのっていた言葉を思い出しました。その言葉は、将来、夢がかなうかどうか重要なのではない。今の自分の夢に向かって努力するところが大切なのだ。わたしも、もしかすると医りょうの仕事につきたいという夢をかなえることができないかもしれません。しかし、医りょうの仕事につくために勉強をがんばっています。この努力が大切だと改めて感じました。(続く)

(問5)

この意見文を読んだ井上さんは次のような感想を高橋さんに伝えました。この感想をもとに高橋さんが意見文を書き直すとしたら、どんなことに気を付けて書き直せばよいでしょうか。

【井上さんの感想】

高橋さんの意見文を読んで、私も高橋さんが以前に読んだ本を読みたくくなりました。でも、どの本を探せばよいか分からないし、どこからどこまでを引用したのかが分かりません。

※高橋さんが、意見文を書き直すときに気を付けたらよいことを□の中に書きましょう。

引用した部分を「」でくくる。

引用した本の書名、作者、出版社を書く。

- 1 次の文章は「高齢者施設での職場体験」についての感想文です。線を引いた部分に使われている表現技法を答へなれり。

私たちは、まず、施設の清掃作業を行いました。床のモップがけを行うグループとますりやドアノブの雑巾がけをするグループに分かれ、それぞれ作業しました。施設は、毎日清掃をわたすため、べつ活わてくるおねがひには見えませなれりしたが、ウールスなじも取り除くため念入りに雑巾がけをするおねがひのじよこた。へまなへ雑巾がけをした後、入所者のおはあひなが、つむぎのよひな雑巾がけ「あ、さあ、さあ」がよひぬた。「うむ、うむ、うむ、うむ」。雑巾がけした施設が、一層明るくなつたよひに感じました。

比喩 (直喩)

- 2 ①～⑤の線を引いた部分に使われている表現技法をア～オから選び、□の中に入れてなれり。

- ① つむぎのよひな雑巾がけ。あ、さあ、さあ。 イ
- ② 私は不思議でたまらなれり、黒い雲から降る雨が、銀に光つてくるじよこた。 エ
- ③ 体験を終え、帰る道、あつた風がほほやななた。 ア
- ④ 私は走る。走る。走る。走る。走る。走る。 オ
- ⑤ 校舎をとおす、雨がポンポンと降り出した。 ウ

ア 擬人法

イ 擬態語

ウ 擬声語(擬音語)

エ 倒置

オ 反復

① 次の文の——線の部分を敬語に直して、下の□□に書きましよう。敬語になっていて直す必要がないものは、□□に丸を書きましよう。

① お客様が、お土産をくれました。

くだけました。

② わたしは、旭川市長から賞状をいただいた。

○

③ 王様が、朝食を食べる。

めし上がる。

② 山下さんは、総合的な学習の時間で高齢者施設を訪問するために、事前に電話で施設の加藤さんに連絡をしました。次の文章は、その電話でのやり取りです。よく読んで、あとの問いに答えましよう。

【電話でのやり取り】

山下さん 「もしもし、加藤様ですか。初めまして、①わたしは花咲小学校六年二組の山下

と申します。」

加藤さん 「はい、花咲小学校の山下さんですね。担任の先生から話は聞いていますよ。」

山下さん 「②明日、予定どおり九時に行きます。③いくつか質問をさせていただきます。」

どうぞよろしく願っています。」

加藤さん 「はい、お待ちしております。」

(問い) 山下さんの……部の言い方の中で、敬語を使った言い方に直した方がよい文の番号を、

①から③までの中から一つ選んで書きましよう。また、敬語を使って直した文を書きましよう。

選んだ文の番号……

②

書き直した文

明日、予定どおり九時にうかがいます。

① 「緑」を楷書や行書で書くとみえた。二つの書き方を比べて、行書の特徴を説明した文章を讀んで、

(1) (5) (4) 「あさひかわ」の「あ」の漢字、*あ*で読ませよう。

緑

楷書

緑

行書

行書は、楷書の二画目の点(1)がなくなつて、また、

楷書の十一画と十二画、十三画と十四画が行書ではそれぞれ

(2) 一つです。そして、多くの部分で楷書より行書の方

が点画に(3) ながめられます。これらの特徴は、行書は日常的

な書き方として、楷書に比べて(4) 書いたときの感じが、

ア 丸み イ 省略 ウ 筆順 エ 連続

オ 鋭さ カ ゆつくり キ 速く ク 止め

1 イ

2 エ

3 ア

4 キ

② 楷書を行書で書くと画数が異なる場合があります。楷書で指定された画は行書では何画目になります

か。例にならうして読ませよう。

楷書

行書

例：

和

和

楷書は六画目、行書は(五)画目

社

社

楷書は五画目、行書は(四)画目

花

花

楷書は一画目、行書は(三)画目

①

②

- 1 次の文の1線の単語を自立語か付属語か、活用するか活用しないかによって分類し、記号で表に記入しよう。

ア小さいイ水色ウのイ星形オの花キをタまじりのケつけタサあの草ハは何デサタガ。

	活用する	活用しない
自立語	アケ	イエカクサシセ
付属語	コソ	ウオキスタ

- 2 次の各文の1線部の単語の品詞をよむとわあひかひら選び、記号で答えなせう。

- ① 大きな青い器がわたしの目を引き付けた。 () キ
- ② 大きな器の青やがわたしの目を引き付けた。 () ア
- ③ 大きな器の青やがわたしの目を引き付けた。 () ウ
- ④ 兄が夢中になってこの色い汁は酸味を馳しくした。 () カ
- ⑤ 今年の品詞コンクールは、品詞を賞を目標としてがなほはじう。 () ケ
- ⑥ わたしは、旭川が大好きです。 () コ
- ⑦ 牛のめんどうは、お母さんです。 () イ
- ⑧ はい、わたしは元気です。 () オ

ア 名詞 イ 副詞 ウ 連体詞 エ 接続詞 オ 感動詞
 カ 動詞 キ 形容詞 ク 形容動詞 ケ 助詞 コ 助動詞